

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	大気規制対象事業所検査事業	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	大気汚染発生源への立入検査事業により、各施設から排出される汚染物質を削減する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	大気汚染発生源設置者((指定)ばい煙発生施設・粉じん発生施設等設置者等)	対象とした数	209	事業所
		実際に 利用した数	259	事業所

活動の内容	(何を したか)	原則的に抜き打ち検査とし、ばい煙の排出状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。(ばい煙排出状況の行政検査や報告の聴取を含む。)							
		①検査計画の作成 ②対象事業所への報告聴取の実施(規制基準への適合状況等) ③大量ばい煙発生施設や規制基準の適合状況が思わしくない事業所への立入検査の実施 ④規制基準に適合しない事業所等への改善指導							
活動実績	項目名	立入検査数(述べ回数)	259	項目名	検査測定数	57	項目名	単位	単位
		-----	-----		-----	-----		-----	-----
		単位	箇所		単位	検体			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,891	1,679	15,582	46.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	基準値等の遵守状況	基準値等適合数/立入検査数×100	100	100	100.0
			-----	-----	-----
			単位	%	単位
			%	%	%

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	050202	大気規制対象事業所検査事業		環境クリーン部 環境対策課		
開始年度	昭和 59 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		青空再生				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			大気汚染防止法、埼玉県生活環境保全条例			
	関連・類似事業	水質規制対象事業所検査事業						
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	1 大気環境の保全	小柱
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	3621	事務改善活動等の充実・強化	コード		コード			
事業開始の背景		本市においては、昭和59年に大気汚染防止法を受任(政令委任)し、大気汚染防止法第26条に基づく立入検査である本事務を開始している。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	大気汚染発生源への立入検査事業により、各施設から排出される汚染物質を削減する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方				
	大気汚染発生源設置者((指定)ばい煙発生施設・粉じん発生施設等設置者等)				報告及び検査実施事業所				
対象数	単位	平成 18 年度	219	事業所	利用数	単位	平成 18 年度	297	事業所
		平成 19 年度	209	事業所			平成 19 年度	259	事業所
事業の具体的な内容及び実施方法									
原則的に抜き打ち検査とし、ばい煙の排出状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。(ばい煙排出状況の行政検査や報告の聴取を含む。)									
①検査計画の作成									
②対象事業所への報告聴取の実施(規制基準への適合状況等)									
③大量ばい煙発生施設や規制基準の適合状況が思わしくない事業所への立入検査の実施									
④規制基準に適合しない事業所等への改善指導									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>							
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])						
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	平成19年度中に改善した点							
大気汚染物質の排出量が比較的多い又は規制基準等の遵守状況が思わしくない事業所を中心に検査計画を立案し、大気汚染物質の削減に関して効果的・効率的に事業を展開した。								

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,745	1,891	2,709	
	決 算 (見込み含む)		1,567	1,679		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		2.07 人	19,044	1.48 人	13,903
	公債費					
	事業費合計		20,611	15,582		
	財源内訳	一般財源	20,611	15,582	2,709	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			61.0	46.0		
利用数一単位あたり(単位:円)			69,397.3	60,162.6		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	立入検査数(述べ回数)	箇所	297	259		
		検査測定数	検体	56	57		
	成果分析	基準値等の遵守状況	基準値等適合数/立入検査数×100	%	目標値 100	実績 100	100
			%	達成率 100.0	100.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	アスベスト排出作業や揮発性有機化合物等の規制強化など、大気汚染防止法の相継ぐ改正により本業務の必要性や重要性が増す中、新規規制に関する知見の集積や情報収集、職員の修練・習熟が必要である。このため、担当職員間での情報共有や勉強会の実施等を定期的に行う。		
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	大気規制対象事業所に対する立入検査(報告聴取を含む。)		全事業所
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由				
各規制対象事業所の規制基準の遵守状況は良好な状況にあること、また本事業は本市の大気環境の保全と改善に不可欠な規制・検査事業であるため。なお、予算については、引き続き本事業の効率的・効果的運用を図るが、当該事業に係る経費の殆どが人件費及び検査委託費であることから、現状どおりとする。				
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	環境対策課長 中 勉	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
⑩環境基本計画	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日							

◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	112
施策の体系	1-1大気汚染の防止	施策の方向	1-1-2工場・事業場等への防止対策の推進	
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
基本目標				
主要課題				
施策の方向				